

消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）購入
仕 様 書

能美市消防本部

第1章 総 則

- 1 本仕様書は、能美市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和8年度に購入する、消防ポンプ自動車 CD-I 型（以下「車両」という。）の艤装、性能及びその他これらに関する必要な事項について定めるものとする。
- 2 本仕様書に定めるほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年10月15日自治省令第24号）、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成22年4月1日消防消第70号）、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、日本消防検定協会及び石川陸運支局の検査に合格し、新規登録手続きを完了し、緊急自動車としての承認が得られたものであること。
- 3 受注者は本仕様書を十分検討のうえ契約するものとし、契約後における一切の疑義は、すべて当本部の解釈に従うものとする。
なお、契約後に本仕様書について当本部担当員と打合せを行い、細部についての確認を行うこと。
- 4 製作過程において、本仕様書に変更の必要が生じた場合は、直ちに当本部と協議したのち、当本部あてに書面をもって提出し、承認を得た場合のみ仕様の変更をすることができるものとする。
- 5 本仕様書に明記のないものについては、メーカー公表の標準仕様とする。
- 6 製作に使用する全ての部品等は、新品を使用すること。
- 7 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関して、特許その他権利上の問題が生じた場合には、その責任を全て負うこと。
- 8 受注者は車両の製作に際し、受注後当本部と細部にわたり十分な打合せを行い、次の図書を各2部（内1部返却用）A4ファイルに綴じ、当本部に提出し承認を得ること。
 - (1) 製作工程表
 - (2) 製作図面
 - ① 艤装外観5面図
 - ② 主要装備品積載図
 - ③ ポンプ搭載・配管図
 - ④ 動力昇降装置及び電動吸管巻き取り装置関係図

- ⑤ 電気配線系統図
- (3) 重量及び重心位置計算書
- (4) 諸元明細書
- (5) その他当本部が指示するもの

9 車両納入時に、次の図書を各3部A4ファイルに綴じ、当本部に提出すること。

- (1) 完成図面 (1/20)
- (2) 電気配線系統図
- (3) ポンプ性能表
- (4) 車両 (ポンプ等含む)、取付品及び付属品取扱説明書
- (5) 取付品及び付属品保証書
- (6) 改造計算書
- (7) 自動車車検証 (写し)
- (8) 工程写真
- (9) 完成写真 (前面・左右側面・後面・上面)
- (10) その他当本部が指示するもの

第2章 シャシ

シャシは、令和8年に自動車メーカーが消防専用シャシとして公表した標準取付品が装備されているものであること。

1 主要諸元

(1) 型	式	3トン級・ダブルキャブ
(2) 全	長	6,000mm以下
(3) 全	幅	1,950mm以下
(4) 全	高	3,000mm以下
(5) ホイールベース		2,800mm以下
(6) エンジン		ディーゼルエンジン
(7) 最高出力		110KW {150ps} 以上 (消防検定出力)
(8) 総排気量		4,000cc 以上
(9) 変速機		オートマチックトランスミッション
(10) 駆動方式		四輪駆動
(11) 乗車定員		5名
(12) 制動装置		ディスクブレーキ (ABS 付)
(13) 駐車ブレーキ		レバー式
(14) タイヤ		オールシーズンラジアルタイヤ (205/85R16)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| (15) 燃 料 タ ン ク | 6 0 L 以上 |
| (16) バ ッ テ リ ー | 1 0 5 E 4 1 R×2 個 |
| (17) オルタネーター | 2 4 V-9 0 Ah |
| (18) 排ガス浄化装置 | D P R+尿素 S C R (尿素タンク容量 : 9. 5L) |
| (19) オイルパンヒーター (キャブタイヤコード 10m 付き) | |
| (20) 動力伝達装置 (P. T. 0 装置) | |
| (21) エンジンアワーマーター | |
| (22) エンジン油温計 | |
| (23) エンジン回転計 | |
| (24) 寒冷地仕様 | |

2 装備品

- (1) パワーステアリング
- (2) 電動格納式ミラー (熱線入り)
- (3) 電動キャブチルト装置 (支え棒付)
- (4) 後退警報装置
- (5) バッテリーメインスイッチ (確認灯付)
- (6) マニュアルエアコン (純正品)
- (7) SRS エアバッグ (運転席)
- (8) パワーウィンド (全ドア)
- (9) 集中ドアロック
- (10) AM・FM ラジオ、
- (11) バックアイカメラ
- (12) LED ヘッドランプ
- (13) LED フォグランプ、ターンランプ (ウィンカー)
- (14) フロントメッキグリル、メッキミラーカバー
- (15) 牽引用フック (前後)
- (16) サンバイザー (左右)
- (17) サイドバイザー (樹脂製)
- (18) 泥除けゴム (全輪)
- (19) ナンバーフレーム

3 付属品

- (1) フロアーマット
- (2) スペアタイヤ
- (3) タイヤチェーン
- (4) ブースターケーブル
- (5) 標準工具

- (6) 非常停止板
- (7) 牽引ワイヤー

第3章 車体の構造

- 1 車体の構造は、両側面各1面及び後面1面のシャッターを設けたシャッター構造とする。
- 2 車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐久性、耐食性に優れ、重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において、充分耐え得るものであること。
また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製とし、それ以外の車体フレーム等は全てアルミニウム素材を使用し総体的な重量軽減を図るとともに、車体の重量バランスにも配慮すること。
- 3 車体フレームの主要構造体は、アルミニウムパネルにて構成された独立した左右の環状パネルフレームを結合し、構造体の強度は環状パネルフレームそのものと、左右各1本の支柱のみで担保し、その他の支柱、梁、壁等は強度部材として一切必要としない内部レイアウトの自由度の高い構造とする。
なお、アルミニウム素材の使用にあたり応力や振動を緩和する装置を設けること。
- 4 車体に使用するアルミニウムパネルは防錆処理（アルマイト処理）を施したものとすること。
- 5 骨組みは、完全に自立する構造とし、側板、腰板等に直接大きな荷重を負担させないこと。
- 6 車両上部及び各ステップ類は、すべてアルミ縞板を使用すること。
- 7 ボデーに取付ける部品の取付けボルト及びビス類は、全てステンレス製を使用することとし貫通部分で危害を及ぼす部分は袋ナットを使用すること。
- 8 蹴り込み部等塗装剥離の恐れがある箇所には、ステンレスまたはアルミ板等の保護板を張ること。
- 9 側板とステップの交わる部分に水が滞留しない構造とし、錆の発生を防止するため十分な防錆処置を施すこと。
- 10 骨組とボデーの組み付けには、十分な錆止め処理を施し、錆の発生を防止する処置を施し、取付け合わせ目、部分には全てコーキング処理を施し水等の侵入を防止するようにすること。
- 11 ステップは、端部周辺を折り曲げ、切断面の返りは仕上げ処理をし、身体に危害が及ばないように入念に仕上げること。
- 12 坂道勾配を考慮し、アプローチアングル及びデパーチャーアングルを確保すること。
- 13 バッテリーは、点検及び交換が容易に行えるよう引出式とする。（サイドス

テップ一体型) なお、バッテリー端子部分及び上面に、保護カバー等を設けること。

14 全輪に泥除けを取付けること。

第4章 艀 装

1 キャブ艀装

- (1) 消防章(黒色危害防止板付)を、キャブ前面に取付けること。
- (2) キャブルーフはGFRP製ハイルーフとし散光式赤色警光灯一体型とすること。なお、散光式赤色警光灯はオールLED点滅灯(フラッシュコントロール機能付)とし、電子サイレンスピーカー及び電動サイレンを内蔵すること。また、ハイルーフはキャブバック張出部分まで延長すること。
- (3) ハイルーフ両側面にLED標識灯を各1個設けること。
- (4) キャブ前面に赤色点滅灯2個を取付けること。
- (5) フロントバンパー上面はアルミ縞板張りとする。
- (6) 後席乗降用ステップについては、サイドステップを延長し可能な限りステップ巾を確保すること。
- (7) キャブ前面上部2ヶ所及び左右ドア部分4ヶ所に乗降用のアシストグリップを設けること。なお、左側Cピラーのアシストグリップは旗立て装置兼用型とする。
- (8) 乗車席は、運転席1名、助手席1名、後部隊員席3名の計5名とし、全席にシートベルトを取付けること。なお、助手席は空気呼吸器内蔵シート(レスキューシート)とし固定装置は幅広マジックバンド式とすること。
- (9) 前席中央部にセンターコンソールボックスを設けること。(詳細は別途協議)
- (10) オーバーヘッドコンソールを設け、別途指示する電装品及びスイッチ等を集約して取り付けること。(ピーポーモード切換えスイッチ、各部赤色点滅灯減光スイッチ等、詳細別途協議)
- (11) 前席と後席の間にステンレス製握り棒を設け、地図収納ボックス(A3サイズ・横型)及びS字フックを6個設けること。
- (12) 後席の背もたれは空気呼吸器が装着容易なようカット式シートとする。
- (13) 後席後部は張り出し加工を施し、空気呼吸器取付装置3基(幅広マジックバンド式)及び面体フックを3個設けること。また、中央の呼吸器取付装置は取り外し可能とし、取り外した際には別途収めるパンチングのパネル板を固定できるものとする。(詳細別途協議)
- (14) キャブ内天井中央部及び後部に資機材収納棚を設けること。収納棚は脱落防止措置として、ゴムバンドを設けることとする。また、交換用に別途ゴムバンドを4式納品することとする。

- (15) 後席助手席側前方に資機材収納ケース(支給品)の固定装置を設けることとする。(詳細別途協議)
- (16) 全座席は超防汚シート張りとする。
- (17) ナンバー枠を前後に取り付けること。

2 車体艤装

- (1) 車体両側板は嵩上げ加工を施し、シャッター内の開口面積を最大限確保するため、シャッターの巻取り装置は嵩上げ部分に隠蔽する構造とし、赤色点滅灯及び作業灯を左右各2個設けること。
- (2) 水槽下部は右側にマフラー、左側に尿素タンクを設け、左右それぞれに化粧板を設けること。なお、左側化粧板には、アドブルの補給が容易にできるよう扉等を設けること。
- (3) ポンプ室上部は左右貫通の資機材収納庫とし、収納庫床面は左右に200mm程度張出すものとし、左右天井付近にパイプ及びS環フック(各5個)を設けることとする。

また、収納庫には資機材収納用ステンレス製ボックス4個を設け左右に落下防止用可動式パイプを設けること。(詳細別途協議)

- (4) 左右リヤフェンダー後方に資機材収納庫を設け、扉はステップ兼用扉とし内側にアルミ縞板を張り衝撃吸収ダンパーを取付けること。

なお、扉は軽量化を図るためアルミニウム製とし、スムーズに開閉でき油圧ダンパーによる開放防止措置を施し、且つシャッターを閉めることにより開放をロックする構造とする。

- (5) 左右リヤフェンダー部前後に埋込式ステップを設けること。
- (6) 左右ポンプ操作部床面は水切りを良くするため、ポンプ操作面下部と床面の交わる箇所には10mm程度の隙間を設けること。
- (7) 吸管巻取り装置後方両側面は資機材収納庫とし、収納スペースを構成する支柱等は、車両の経年における運用状況に合わせ、柔軟に位置変更が可能な構造とする為、アルミニウム製プロファイル材を用いること。また、車体と支柱、間仕切り板、側板等の連結については、同様の理由により、ビスによる固定方式を採用することとし、溶接による固定は行わないこと。

また、器具収納スペースの容積については、可能な限り多く確保し、且つ積載品等の取り出し及び収納が容易な構造とし、必要に応じて積載品固定金具、間仕切り、棚、引出装置、水抜き穴等を設けること。(詳細別途打合せ)

- (8) 吸管巻取り装置後方左右側面は4段の収納庫とし下部にアルミパンチング製収納箱を設け、別途指示する資機材を固定できる構造とし、その他についてはフリースペースとすること。また、収納庫床面(最下段以外)は取り外し可能な構造とすること。

なお、後面(ホースカー側)はパンチングパネル製の壁とし、S字フック

を大小各 5 個(合計大 10 個、小 10 個)ずつ設けることとし、左側面には、キャビン内後席中央の取り外した呼吸器取付装置を設置し、空気呼吸器を収納できることとする。(詳細別途協議)

- (9) 車体後方には、加納式電動アシストホースカー (X-QUICKER) を電動油圧昇降装置 (展開式) にて積載すること。

なお、未収納確認灯をキャブ内に設けること。

- (10) サイドステップを延長し、右側にはバッテリー引出装置 (サイドステップ一体型) 及び左側には燃料タンク (油種表示付) を設けること。

- (11) 車体上部に、三連梯子の展開式梯子昇降装置を設け、装置にはとび口 2 本もしくは区画制圧ノズルの取付装置を設けること。

なお、車両重量バランスを考慮し梯子昇降装置はアルミ製を使用し軽量化を図ること。また、未収納確認灯をキャブ内に設けること。

- (12) 車体上部に、アルミ縞板製の収納ボックスを設け棒吸管等が積載できる構造とすること。

- (13) 車体後部右側に車体上部昇降用展開式梯子 (アルミ製) を 1 個設けること。

- (14) 各シャッター扉が開放時の警告灯を設けること。

第 5 章 ポンプ装置

1 水ポンプ

- (1) アルミ製高圧二段バランスタービンポンプ (インデューサー付) とし、ポンプ性能は A-2 級とする。なお、耐久性・耐電食性を考慮しインペラー及びインデューサーは砲金製とする。

- ① 大規模火災・高層建物火災・林野火災時に対応できるよう、放水性能は次のとおりとする。

ア 規格放水量 0.85MPa で 2,500L/min 以上

イ 高圧放水量 1.4MPa で 2,200L/min 以上

- ② 排水装置は、電動式とし、PTO スイッチに連動して作動すること。また、非常用 PTO を使用することで、エンジン停止時にドレンの開放をストップ出来る構造とする。

- ③ 軸封部は、真空漏れ発生時に増し締めまたは交換が容易に行え、故障時のコストが安価なグランドパッキン方式とする。

2 真空ポンプ

- (1) 偏心ロータリー無給油式 5 翼で真空ポンプ 1 機の排気量 1,275cc 以上とし、性能等は次のとおりとする。

- ① 規定の吸水管 (80mm×10m) を使用し試験をおこなったとき、試験時大気圧

の 84%に達する時間が 15 秒以内とする。

② 漏気は 30 秒間に 10mm 以内とする。

③ 真空ポンプの耐久性向上のため、主ポンプと真空ポンプの間に汽水分離器を設け、水及び泥などが進入しない構造とする。

3 自動揚水装置

真空ポンプの操作は、計器盤直近に設けた操作盤にておこない、作動ボタン ON により自動的に真空ポンプ駆動に適正な回転まで上昇し、揚水完了と同時にフロースイッチ（圧力検知は不可）により自動停止しアイドリング状態にもどる構造とする。なお、操作盤は各メーカー固有のものとする。

4 ポンプ操作装置

ポンプ操作装置の表示画面は 12.3 インチ以上の液晶パネル式とし、「真空ポンプ作動状況」、「各放口・中継口・吸水口の開閉状況」、「揚水状況」、「エゼクターの開閉状況」「各放水口流量及び積算流量」、「各放水口圧力」、「ポンプ回転」、「消火栓能力」等の表示が容易に確認でき、水の流れが容易に確認できる図形式とすること。

なお、主要な操作スイッチ（自動揚水、非常用真空、自動調圧、アイドリングスイッチ等）は操作が確実な押しボタン式とする。

5 ポンプスロットル

(1) ポンプスロットルは電子スロットルとし、スロットルの使用状況が把握できるよう液晶モニターに表示できること。

(2) ポンプスロットルは、誤作動を防止するため左右ともに右回転でスロットルアップするものとする。

6 自動調圧装置

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧力まで圧力を上昇させ、設定圧力以上になった場合は設定圧力まで圧力を下げる任意圧力安定機能、放水停止時及び緊急時等に押すとエンジン回転がアイドリングまで降下するアイドリング機能を設けること。

7 消火栓能力判定機能(FHCP S)

水利部署した消火栓圧を測定し、消火栓の最大能力(最大吸水量)を判定し放水可能水量を左右液晶操作モニター内に表示する消火栓能力判定機能を備えること。

7 ポンプ配管

配管の曲部は努めて大きく取り、摩擦損失を最小限に抑えることとし、結合部はフランジを使用し点検整備時に脱着できる構造とする。

また、各配管は軽量且つ耐久性に富んだアルミ製とする。

8 吸水口

内径 75mm 以上のボールコックとし、電動吸管巻き取り装置（サイドプル方式）及び車両左側に各 1 個設け、電動吸管巻き取り装置は車体に対して垂直方向にポンプ室後方に配置し、左右どちら側からでも容易に引出せ、左右どちら側からでもロック及び解除ができる構造とする。なお、吸管の取出しが容易に行えるよう吸管取出し口には金属製の三方ローラー及び巻き取り装置下部には金属製の補助ローラーを設けること。また、電動吸管巻き取り装置の吸管巻き取り速度は一定速度のものとする。（チェーンレス方式）

9 呼水装置

確認窓付エゼクター装置で放水量 1,000L/0.5MPa（吸水高さ 3.0m）のとき、呼水装置のバルブを全開しても落水せず 60 秒以内に揚水を完了するものとする。

10 放水口

内径 65mm ボールコックとし、ポンプ室両側に各 2 個設けること。

11 中継口

ポンプ室両側に各 1 個設けることとする。なお、右側の中継口は 75mm ボールコック（エゼクター装置付）とし、予備吸管が接続可能な構造とする。また、右側のボールコックには消火栓媒介金具を取り付け、常時中継口として運用するものとする。

12 水抜き

主ポンプ及び吸水口、ならびに、中継口の水抜きは PT0 作動に連動させること。なお、放水口の排水装置は左右に各 1 個、手動バルブにて設けること。

13 計器

- (1) ポンプ圧力計及びポンプ連成計（電子式）を左右液晶操作パネルに表示すること。なお、非常用として右側操作部に機械式の圧力計及び連成計を各 1 個設けること。また、各放水口の圧力計を設け、液晶操作パネルに表示すること。
- (2) 流量計を各放水口に各 1 箇所設け、左右の液晶操作盤にて流量が確認出来ること。
- (3) 積算流量計は左右の液晶操作盤にて積算流量が確認できること。

- (4) ポンプ回転を左右の液晶操作盤にて確認できること。
- (5) ポンプ操作面左右には、有効に照射出来る LED 式計器灯を設けること。

14 冷却装置

冷却水は 2 系統とし、それぞれに操作バルブ、清掃が容易に出来るストレーナ及び、通水が目視できるカップを設けること。

15 給脂装置

ポンプグランド部へ給脂出来るグリスポンプを、ポンプ操作部の適当な位置に設けること。

16 不凍液注入装置

ポンプ及び真空ポンプ配管の凍結防止のため、不凍液注入装置を設けること。

17 逆圧感知リリースシステム

消火活動中の上水道配管保護及びウォーターハンマーの軽減を目的とし、逆圧感知リリースシステム(システムデバイダー B-FW)を設けること。

18 泡消火薬剤混合装置

(1) 泡消火薬剤混合装置は、配管内蔵型ポンププロポーションナー (TS-3) とし、操作面は左ポンプ室とすること。

(2) ポンププロポーションナーの性能は下記のとおりとすること。

ア 放水範囲

A 火災用 50～2000L/min

B 火災用 500L/min

イ 薬剤吸引量

A 火災用 約 0.48～2.23L/min

B 火災用 約 15.20L/min

第 6 章 水 槽

1 水槽は 1,300L 以上の GFRP 製の水槽とし、振動及び衝撃等により損傷及び緩み等を生じないように車台に固定し設置すること。なお、水槽上部にはマンホール、内部には水の動揺を防止する防波板を設け、0.03MPa の水圧に対し、変形及び漏れがない構造であること。

2 構造は次のとおりとすること。

- (1) 水槽から主ポンプへ吸水連結管は、内径 75mm 以上としボールコックを設け、車体両側で操作できるものとする。
- (2) 水槽は自己補給が可能であり、主ポンプ吐水側と内径 40mm 以上としボールコックを介して接続し、車体両側で操作できるようにすること。
- (3) 水槽には補給口（65 mm 差込メス金具・タンク停止弁付）を水槽左右側面に各 1 箇所設けること。
- (4) 水量計は電子水量計とし、左右液晶モニターにて確認ができること。
- (5) 水槽には、オーバーフローパイプ及び排水バルブ又はコックを取付けること。
- (6) 水槽内部は、清掃、補修が容易な構造であること。
- (7) 水槽水取出し口を左右補給口付近に各 1 箇所設けること。

第 7 章 ホース延長資機材及び昇降装置

1 ホース延長用資機材

- (1) 本体は、加納式電動アシストホースカー（X-QUICKER）とし、65mm ホース 10 本が積載可能であり、型式適合評価品であること。
- (2) ホースレイヤーの上蓋は、取り外しが可能な構造とすること。
- (3) 本体に、分岐管及び管鎗、媒介金具等取付け装置を設けること。
また、ホースレイヤー上蓋に 50 mm ホース 2 本以上が積載できる措置を講ずること。（別途協議）
- (4) ホースレイヤーの充電はオイルパンヒーターコンセントと併用し、AC100V にて充電できる構造とすること。

2 動力昇降装置（展開式）

- (1) 動力昇降装置は、ホースカーの展開に十分に耐えうる昇降能力を有すること。
- (2) 動力昇降装置の固定確認灯を取付けること。
- (3) 夜間操作時に必要な作業灯及びスイッチを設けること。
- (4) 非常時には、手動にて昇降できる手動昇降装置を設けること。

第 8 章 電装品及び警報装置

- 1 艀装メインスイッチ（確認灯付）を設けること。なお、艀装メインはシャシのバッテリーメインスイッチ連動とする。
- 2 電子サイレンアンプ、各種スイッチ（10 連スイッチ等）及び消防無線機等はオーバーヘッドコンソールに取り付けすること。（配置詳細は別途協議）
- 3 散光式赤色警光灯は FRP 製ハイルーフ一体型とし、オール LED 点滅灯（フ

- ラッシュコントロール機能付) とすること。なお、電子サイレンスピーカー及び電動サイレンスピーカーを内蔵すること。
- 4 標識灯 (LED 式) をハイルーフ両側面に各 1 個設けること。
 - 5 キャブフロントパネル部に赤色点滅灯を 2 個取付け赤色警光灯と連動させること。
 - 6 車両の両側面上部に赤色点滅灯を左右各 2 個取り付けし、車両後部には、赤色点滅灯を左右に各 1 個取付けとする。なお、赤色点滅灯の作動は、散光式赤色警光灯と連動させること。また、後部はガード付とする。
 - 7 車両の両側面上部に作業灯を左右各 2 個取り付けし、車両後部には、作業灯を左右各 1 個取り付けすること。また、後部はガード付とする。
 - 8 車体前部の左右に照明灯 (伸縮ポール付) を各 1 器取付ける。なお、スイッチはそれぞれのライト直近の操作しやすい位置に取付けること。
 - 9 左右フェンダー部に LED 路肩灯及び車体後部側面左右に LED 車幅灯を設け、スモール灯と連動すること。
 - 10 尾灯、停止灯、後退灯を車両後部両側に埋め込み式にて取付けること。
 - 11 ポンプ計器灯は、LED 灯とすること。
 - 12 各ボックス内には、シャッター及びドアの開閉に連動して点灯する、LED 照明灯を取付けること。
 - 13 キャブ後席天井部に LED 室内灯を 2 個取り付けすること。
 - 14 キャブ内に DC / AC インバーター (500W 程度) を設け、4 口以上のコンセント (スイッチ付) を設けること。
 - 15 キャブ内助手席 A ピラーにフレキシブルマップランプ (LED) を 1 個設けること。
 - 16 過充電防止機能付バッテリー充電器 (ずぼら充電器) を後席下部に設け、外部電源引き込みはオイルパンヒーターコンセントと兼用とし、防水用蓋付マグネットコンセント (丸型) とし、右サイドステップ側面に設けること。
なお、キャブ内に外部電源コンセントを設け、上記 14 インバーター用コンセント兼用とし、自動切替ができる構造とする。
 - 17 電装品の取付け及び配線工事は、それぞれの電装品の容量に見合った配線及びヒューズを使用し、ヒューズボックスは艤装用として独立したもので、ボデーの配線貫通部はグロメット等で保護すること。
 - 18 配線は、次のとおりとすること。
 - (1) 系統別に色分けすること。
 - (2) 配線貫通部には、すべてブッシュゴムを取付けること。
 - (3) ヒューズボックスは専用とし、系統別名称及び容量を記入すること。
 - (4) 機器類付近の接続部は圧着端子とし、端子にはビニールカバーを取付けること。
 - (5) 車体外部に露出する配線は、防水及び被覆保護のため、ビニールカバー

付とすること。

第9章 消防用車載型無線電話装置及び車両動態管理装置（A V M）

1 消防用車載型無線電話装置

- (1) 車載型無線電話装置（支給品）は当本部が指定する車両から移設し、無線機本体、アンテナ、同軸ケーブル、送受話器（キャブ内：1、車外：2）、スピーカー（キャブ内：1、外部2）等を取付けること。（アンテナ、同軸ケーブルは新品とする）
- (2) 車外無線装置はポンプ室左右に設け、スピーカー及び送受話器を左右各1個取付けること。

2 車両動態管理装置（A V M）

- (1) A V M（支給品）1式を別途指示する車両から移設すること。
- (2) モニターはキャブ内センターコンソールボックス前方に取付け、助手席乗車時の快適性を考慮し、取付位置については可能な限り前方側とする。（詳細は別途協議）なお、外部設定器はポンプ室左右に設けること。

第10章 塗装及び文字記入等

- 1 ステンレス及びアルミ以外の金属部は、すべて塗装あるいはメッキを施し、露出部分がないようにすること。

- 2 ボデーに取付けられた部品は、塗装前に一旦取外し塗装後再度取付け、取付け部の不塗装部分をなくするようにすること。

3 塗装要領

- (1) 車体外側は、十分に素地調整を行った後、防錆加工を施し、入念に3回以上吹きつけ、磨き、つやだし仕上げを行うこと。
- (2) その他の塗装する部分は、十分に素地調整を行った後、上塗りを3回以上行うこと。
- (3) 塗装の色分け等は、次のとおりとすること。
 - ① 車体外側（シャッター含む、）は朱色とする。
 - ② 車体下回りを、黒色及びアンダーコート仕上げをすること。
 - ③ ポンプ室内（ポンプ・配管）色は赤色とする。
 - ④ 側面ライティングパネル、後部リアトリム、シャッター最下段スラット部の塗分けは別途協議とする。

4 塗装性能

塗装は長期間の使用及び塩害（凍結防止剤等）から車体を保護するため、以下の条件を満たすことができる高機能塗装とする。

- (1) 色度性能：1,000時間以上のサンシャインウエザオメーターにて色度低下

率 10%以内

- (2) 防錆性能：1,000 時間以上のキャス（塩水噴霧加速試験）を行い錆の発生が確認できないこと。

5 文字記入等

車両の各部に記入する文字（対空文字含む）は、指定書体で、当本部の指定する文字を協議の上、記入すること。

- (1) 機器の操作部分には操作ネームプレートを取付ける。
- (2) 車両の各部に次のように文字を記入すること。（詳細については別途指示）
- ① 記入箇所：キャビン前部助手席側、キャビンドア部、シャッター部等
 - ② 記入文字：能美市消防本部、隊名表示及び本部名英字表示
 - ③ 書 体：丸ゴシック及び、英字にあつては別途指示
 - ④ 文字色：白色、英字にあつては再起反射材検討

- (3) 車両の側面の平面部に（全周囲）再起反射テープでマーキングすること。
（詳細については別途指示）※バッテンバーグ、シェブロンマーキング検討

第 1 1 章 検 査

この仕様書及び承認図書並びに受注者の標準仕様書に基づき、当本部の係員が立会いのうえ、次のとおり検査を行うものとする。

- 1 実施手続
実施のおおむね 10 日前までに文書をもって行うこと。
- 2 実施立会
営業及び技術担当者が立会うこと。
- 3 中間検査
塗装前の必要な時期に実施する。
- 4 完成検査
納入時、消防本部指定場所において実施する。
 - (1) 艀装全般検査
 - (2) 積載品及び付属品の規格、員数検査
 - (3) 外観検査
 - (4) その他必要な事柄

第 1 2 章 補 則

- 1 本車両の保証期間は納入後 1 年間（塗装、メッキは 2 年間）とする。ただし保証契約締結から納入までの諸経費は、受注者が負担するものとする。ただし、車両新規登録量及び車両重量税、自動車損害賠償責任保険料、リサイクル費用は、発注者が負担する。

- 2 保証期間は、納入後 1 年間とする。ただし、保証期間後であっても設計、工作あるいは材質の不良に起因するものについては、無償で取替え又は修理を行うこと。
- 3 車両は、石川県運輸局石川運輸支局が行う新規検査合格後に納入すること。
- 4 納期は、令和 9 年 3 月 31 日とし、納入場所は寺井消防署とする。
ただし、著しい社会情勢の変動や不可抗力等、受注者の責めに帰すことができない理由により、納期までに納品ができない事情が生じたとき、またはその恐れがあるときには、受注者はその理由及び納品の予定時期等を発注者へ書面により申し出ることにより、発注者と受注者の双方協議の上、納期を変更することができる。

別表 1 シャーシ及び艀装

1	消防専用シャーシ	4 輪駆動・5 人乗り・フォグランプ装備	1 式
2	ポンプ・標準艀装		1 式

別表 2 標準艀装

1	ホース延長用資機材	電動アシストホースカー／YAMAHA／X-QUICKER 上蓋付、分岐管、媒介金具、短とび口取付金具	1 式
2	動力昇降装置	電動式 ホースカー固定装置付き	1 式

別表 3 取付品及び取付装置

1	ポンプ圧力計	液晶モニターへの一体型不可	2 個
2	ポンプ連成計	液晶モニターへの一体型不可（リタード式）	2 個
3	エンジン回転計	シャーシ標準	1 式
4	エンジン油温計	シャーシ標準	1 式
5	散光式赤色警光灯	ハイルーフ一体型	1 個
6	拡声器付電子サイレン	OSS／TSK-D152Y(P)（ポンプ室左右マイク増設）	1 式
7	照明灯	佐藤工業所／フラッシュボーイ LED NEXTRDB15 伸縮柱；エア一式自動伸縮ポール	2 式
8	後退警報器	シャーシ標準	1 式
9	標識灯	ハイルーフ両側面各 1 個（黒文字）	1 式

別表 4 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

1	GPS ナビゲーションシステム		1 式
2	電動サイレン	散光式赤色警光灯内臓（自動吹鳴装置・スイッチ付き）	1 式
3	真空計	揚水モニター組み込み可	2 個
4	流量計	揚水モニター組み込み可	2 個
5	積算流量計	揚水モニター組み込み可	2 個

6	キャブチルト装置	電動油圧式	1 式
7	オイルパンヒーター	シャシ標準	1 式
8	ポンプアンダーカバー		1 式
9	不凍液注入装置		1 式
10	スタッドレスタイヤ	ホイール付き	7 本
11	作業灯	OSS／LIA-200	6 個
12	車外無線送受話器取出口	車体両側面	1 式
13	反射材	赤色・黄色／車体周囲	1 式

別表 5 備えなければならない付属品

1	吸管（1）	80 mm×10m エルボ付き	1 本
2	吸管（2）	80 mm×10m 分割可能	1 本
3	吸口ストレーナー	プラスチック製	2 個
4	吸管ストレーナー	プラスチック製（ストレーナーちりよけ籠一体型）差込 75 本	2 個
5	吸管まくら木	ゴム製	2 個
6	吸管ロープ	10 mm×15m	2 本
7	消火栓媒介金具	吸管に適した呼称 65 mm 差込メス	1 個
8	中継口媒介金具	呼称 75 mm ネジメス×呼称 65 mm 差込メス	2 個
9	消火栓開閉金具	手かぎ×2 地上式消火栓用（前澤式）×1 地下式消火栓用（金沢式 1,000 mm 以上）×1	1 式
10	吸管スパナ		2 個
11	管そう	スーパーストリーム管そう・PP-65A	2 個
12	ノズル	YONE／ダブコンマークⅡ YONE／クアドラノズル（NH-40QF）	2 個 2 個
13	放口媒介金具	MC 吐水口媒介（AN-65MC） スィーベル吐水口媒介（ANS-65）	2 個 2 個
14	とび口	1. 8m（グラスファイバー）	2 本
15	金てこ	長さ 850 mm～900 mm	1 本
16	剣先スコップ	木柄	1 本
17	はしご	関東梯子／KHFL-SIW74／中央基部キャスター付	1 脚
18	車輪止	ゴム製	2 対
19	消火器	自動車用（ABC 粉末 6 kg）	1 本
20	ポンプ工具	グランドスパナ 冷却ストレーナーキャップ用スパナ各 1 丁補修色	1 式
21	ホース	呼称 65 mm 1.6Mpa D アタックエース【アラミド】	10 本

別表 6 軽微な変更として備えることができる付属品

1	タイヤチェーン	金属製 クロスメンバー式	1 式
---	---------	--------------	-----

2	分岐管	YONE／MC 分岐ボールバルブ WB-65MC【同等品可】	1 個
3	ホースブリッジ	OSS／CB-450-W	1 式
4	照明器具	マキタ／ML008G・専用三脚 A-69129・ 防水防塵漏電切断コードリール 30m	1 式
5	おの	千吉／GF アックス 700mm S G A-1	1 丁
6	掛矢	車両に取付け	1 丁
7	スタンドパイプ	双口引上げ式 (PS65DV)	1 本
8	特殊ノズル	YONE／区画制圧ノズル CAN	1 個
9	特殊ノズル用ホース	呼称 40 mm キンパイプロファイターA【アラミド】	4 本

別表 7 基準額に対する加算分

1	寒冷地仕様		
2	吸管巻取装置（電動）	双方向引出し式	1 式
3	空気呼吸器	ドレーゲル／Air Boss NHA（面体 FPS7000）	4 基
4	空気呼吸器用高压容器	ウルトレッサ ALT1083J 90° バルブ	4 本
5	空気呼吸器取付装置	レスキューシート 1 基、マジックハントタイプ 3 基	4 基
6	予備ボンベ積載装置	異型ボンベ収納	1 式

別表 8 特殊ぎ装

1	バッテリー管理器	20m電源コード付	1 式
2	エジェクター装置	揚水確認装置付	1 式
3	アルミ縞板保護加工	必要箇所、本文参照	1 式
4	各種収納ボックス	キャブ内、本文参照	1 式
5	AC100V コンセント	収納ボックス内	2 個
6	牽引用フック	能力表示付	1 式
7	荷室シャッター取付け	側面 1 枚×左右、後面 1 面	1 式
8	防火衣吊下収納用横棒	ステンレス製 S 字フック 6 個付	1 式
9	昇降用ステップ 及びはしご	後部展開式	1 式
10	赤色点滅灯	フロント OSS／LFA-160（2 個） サイド OSS／LFA-200（4 個） リヤ OSS／LFA-300（ステンレスガード付）（2 個）	8 個
11	積載梯子昇降装置	後方スライド、ダンパー式	1 式
12	隊員乗降用グリップ	必要箇所、本文参照（手すり）	1 式
13	後輪照射灯	車体両側面（LED）	4 個
14	車幅灯	車体両側面（LED）	1 式
15	室内灯	LED	1 個
16	計器灯	左右各 1（LED）	2 個
17	バックカメラ・モニター	バックミラー型モニター	1 式
18	ドライブレコーダー	記録メディア含む（64GB 以上）	1 式

19	消防章	150mm	1 個
20	フレキシブルマップ ランプ	LED、助手席取付け	1 個
21	集中操作スイッチ	OSS／SBW-D1	1 式
22	旗立て装置	旗立てホルダー	1 式
23	携帯拡声器取付装置	キャブ内天井	1 式
24	資機材収納庫	車体上部 アルミ縞板製 詳細別途指示	1 式
25	消防無線電話装置・ AVM端末等移設	外部スピーカー、配線材等含む。無線機本体、 アンテナ、AVM端末等は支給	1 式
26	記入文字	別途指示	1 式

別表 9 特殊ぎ装

1	携帯警報機	ドレーゲル ボディーガード 1 0 0 0	4 個
2	携帯拡声器	(株)ノボル電機製作所／TS-633R 【同等品可】	1 個
3	ホースバッグ	洩消式 65 mmホースバック	3 個
4	同径媒介金具	呼称 65 mm 差込みメス×差込みメス 呼称 65 mm 差込みメス×差込みメス	2 個
5	異径媒介金具	呼称 75 mm差込みメス×65 mm差込みメス※吸管用消火 栓対応媒介 (2 個) 呼称 75 mmシメメス×75 mm差込 メス (サイトプル吸管用) (1 個)	3 個
6	消火栓媒介金具	呼称 75 mmシメメス×75 mm差込メス (上部収納吸管用)	1 個
7	中継ロストレーナー		1 個
8	泡消火薬剤	クラス B 消火薬剤 グリーンアルコエース 3 3 6	2 缶
9	ライト	防爆ライト ストリームライト／バルブ 180F	1 個
10		防爆ライト ストリームライト／サバイバー X992R 乾電池式	4 個
11	ワイヤーカッター	車両に取付け	1 個
12	特殊ノズル用ホース	呼称 40 mm キンパイプロファイターA【アラミド】	6 本
13	フォームジェット	FN-50QLX ※B 火災用	1 個
14	避難器具	ドレーゲル パラート 7500	1 個
15	ボンベカバー	ドレーゲル シリンダーカバー	4 個
16	熱画像直視装置	FLIR／K2	1 個
17	救出器具	ペツル／ピタゴール C060AA00	1 個
18	救出用ロープバック	PMI／ロープバック USA M	1 個
19	投光器バッテリー充電キット	マキタ／A-00055	1 式
20	集水器	ディスクストレーナー	1 個
21	検索補助器具	COURANT／オートロール・ムーリングカラー	4 式
22	署活系無線機	緊急消防援助隊仕様 免許申請等含む	3 基